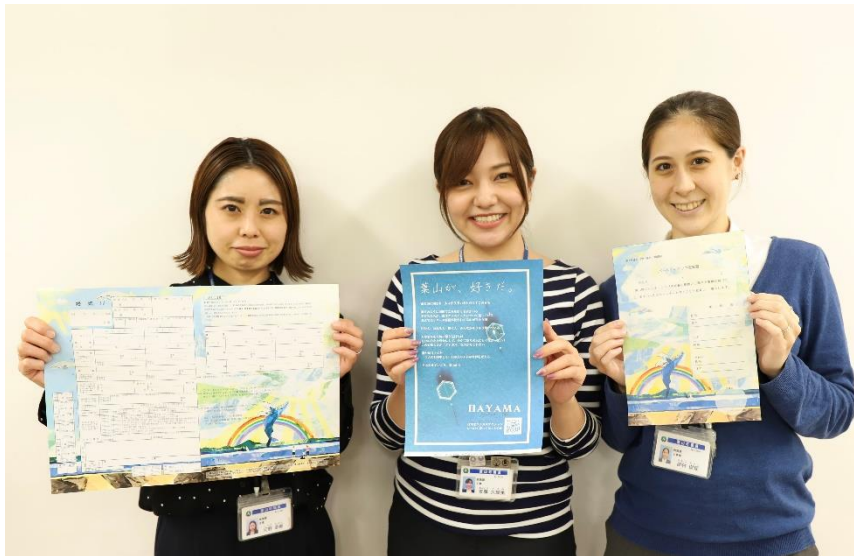




葉山から世界とつながる「エシカルアクション」



▲左から、葉山オリジナル婚姻届・ポスター・パートナーシップ宣誓書



▲愛と環境保全を誓う文が記載されたメモリアルカード

◆ 「葉山町版エシカル消費」の推進

SDGsの目標達成のために、2019年より葉山町が町民や事業者と連携・協働して推進している「はやまクリーンプログラム」の第三弾として、環境月間である6月より「はやまエシカルアクション」が始動します。「ethical（エシカル）」は、直訳すると「倫理的・道徳上の」という意味で「本来人間の持つ、良心に基づく考えや行動」のこと。町内事業者や団体等のエシカルな活動を、町の特設ページで紹介することで「葉山版エシカル消費」など町内でのエシカルな活動の推進を目指します。

町の特設ページ▶



◆ 若手女性職員が発案！産官民連携プロジェクト

町はこれまで、フォルクスワーゲングループ（株）と連携した「e-HAYAMACATION」の実施や、（一社）セイラズフォーザシー、カシオ計算機株式会社等と環境保全に関する協定を結ぶなど、民間との連携を図ってSDGsに取り組んできました。本企画は、さらに進化し、企業や個人からの賛同を募るなど、町全体をあげた大規模ESG活動となります。

企画発足のきっかけは、若手女性職員による「町民の皆さんによる環境配慮や社会貢献を、もっと知ってもらいたい！」という思い。将来的には1000の事業者、3万3千人の個人賛同を得ることを目標に掲げ、葉山が「環境の町」として世界に発信していくことを目指します。

◆ あらたひとむさんデザインのオリジナル届書もリリース

町民への啓発活動としては「葉山オリジナル婚姻届」「パートナーシップ宣誓書」「メモリアルカード」「ポストカード」の4点をリリースします。デザインを提供してくださったのは「カシオG-S HOCK イルクジモデル」などを手がける、ホエールアーティストのあらたひとむさんです。あらたひとむさんは町が「かながわプラごみゼロ宣言」に賛同したことをきっかけに「はやまクリーンプログラム」を知り、プログラムの趣旨に賛同したことから町の環境啓発活動に協力して下さっています。